



— 夢の甲子園に向かって —

高校球界の名将・長澤宏行さんが  
篠山産業高等学校の野球部監督に就任



高校球界の名将として、神村学園（鹿児島県）で春の選抜準優勝、創志学園（岡山県）で春夏6回の甲子園出場に導いた長澤宏行さんが、10月1日付けで、丹波篠山市スポーツ振興官に就任しました。

4日には就任セレモニーが行われ、酒井市長らから、花束やユニホーム、ノック用のバットなどを贈呈。また、篠山産業高等学校の野球部監督に就任することも決定しました。長澤振興官は、「重責を担ったことを改めて実感しています。結果を出す人は自分に甘くありません。」



「私も自分に厳しくやるべきことをやっていきたい」と語りました。そして、「デカンショ節のメロディーにのせて「丹波篠山 産業の選手 夢の甲子園で野球する」と謡い、会場を沸かせました。

5日には、篠山産業高等学校の硬式野球部で監督としての指導をスタートさせた長澤さん。練習では選手全員が陣を組み、長澤監督は「自分に厳しく、一球一球を大切にしていこう」と話した後、ノックを開始。選手たちを鼓舞しながらバットを振りました。

# 丹波篠山ブランドロゴマーク決定！



## 丹波篠山ブランドの発信のために積極的にお使いください！

全国から公募し、500点を超える応募作品の中から市民投票を経て「丹波篠山ブランドロゴマーク」が決定しました。

丹波篠山市では市名変更をきっかけとして、「丹波篠山ブランド」をさらに広く浸透させていくためブランド振興に取り組んでいます。

この「丹波篠山ブランド」を発信していくためのツールとして、市内の事業者が「丹波篠山ブランド」に関連した商品やサービスのPRなどに活用するためのロゴマークです。

### ロゴマークの説明

「丹波篠山ブランド戦略」において丹波篠山の魅力的な地域資源を、以下に示す「5つの宝石」として分類しています。今回決定したロゴマークはそれら5つの要素を表現しています。

ロゴマークの表現	5つの宝石
・右側の住居、山々にかかる太陽	→ ①「美しい町並みと農村景観」
・左部の猪や稲、右下の黒豆	→ ②「農の都、食の聖地」
・下部のデカンショ踊りの笠	→ ③「歴史と文化、芸術」
・上部の山々等	→ ④「命輝く自然環境」
・上部山すそにかかる雲のように見える手	→ ⑤「丹波篠山人」

### ロゴマークの使用について

決定したロゴマークはチラシや名刺、商品など、丹波篠山ブランドを広めようとする皆さんに幅広くご使用いただけます。使用に際しては、右記二次元コードから詳細についてご確認ください。



詳細についてはこちらから

問い合わせ ブランド戦略課 552-0275



## 丹波篠山スクエアオープン(10月3日)



JR篠山口駅の売店跡に「丹波篠山スクエア」が誕生しました。駅周辺のにぎわい創出や情報発信の拠点として活用します。出店は日替わりで、特産品やパンの販売、作品展示などが予定されています。出店カレンダーは右記からご覧ください。



## 男女共同参画センター「フィフティ」開設(10月1日)



丹波篠山市男女共同参画センター「フィフティ」が丹波篠山市民センター内に開設されました。開設時間は月曜と祝日、年末年始を除く9時から17時まで。女性相談員がDVやさまざまなハラスメントについて対応するほか、セミナーの開催や情報紙の発行なども予定しています。



## 大牟地区通学合宿(9月29日～10月1日)

親元を離れた子どもたちが、公民館などで共同生活をしながら学校に通う通学合宿。大牟地区では泊まれる学校おくも村を合宿所に、2泊3日の日程で行われました(大牟活性化委員会・丹波篠山市子どもの居場所づくり推進協議会主催)。合宿には小学1年から6年生まで18人が参加。PTAをはじめ、自治会、いずみ会の皆さんなどが合宿生活を見守りました。合宿生活で子どもたちは、宿題を教えたり、ゲームをしたりするなど交流を深めるとともに、生活のルールを守り、助け合うことも学びました。



## 黒枝豆の販売解禁(10月5日)



丹波篠山市の秋の特産品である「丹波篠山黒枝豆」の販売が市内一斉に解禁されました。今年は適度な雨に恵まれ、さやの数も多く、平年以上の出来となりました。この日は、泉のほ場で解禁セレモニーが開催され、市農業生産組合協議会の利根茂樹会長が解禁を宣言。続いて、黒枝豆の樽開きが行われ、シーズンの到来を祝いました。

## レスリング全国大会で内藤陽心さん優勝(9月26日)



「第39回全国少年少女レスリング選手権大会」で味間小3年の片桐大誠さんが36kg級で3位入賞、同3年の内藤陽心さんが男子24kg級で優勝しました。片桐さんは「将来はオリンピックに出たい」内藤さんは「レスリングで有名になりたい」と目標を語りました。

## 野菜などで作ったクレヨンを寄贈(9月20日)



富国生命保険相互会社(坂井洋介神戸支社長)から、子どもたちに絵を描く楽しさを知ってもらおうと、「おやさしいクレヨン」が寄贈されました。クレヨンは米ぬかからできた米油と野菜外葉で作られ、口に入れても安全な素材でできており、市内の子育て施設に配布されました。

## 城下町などを巡る小型電動バスが運行(10月6日)



秋の観光シーズンにあわせ、城下町などを巡る小型電動バス「meGREEN」の運行が8日から開始されました。運行は土・日・祝日限定で1日12便。約5.5kmを一巡します。この日はお披露目式が行われ、ささやまこども園の園児らが風船を空に放ち、運行を祝いました。

## 篠山養護学校中学部ショップ(10月6日)



篠山養護学校中学部の生徒が、授業で制作したハンドメイド雑貨などを市役所で販売。自分たちで販売価格を考え、接客を行いました。指導はハンドメイド作家の金崎美和さん。今後の出店は下記のとおりです。11月17日(木)・12月1日(木) 12:00~13:00(本庁舎1階)

## 「兵庫芸術文化センター管弦楽団」丹波篠山公演・市内在住の三原萌さん出演(9月21日)



世界的な指揮者・佐渡裕さんが率いる「兵庫芸術文化センター管弦楽団」(西宮市)の丹波篠山公演が田園交響ホールで盛大に行われました。今回の公演には、市内在住のフルート奏者・三原萌さんも出演し、ブラームス「交響曲第1番」などを披露しました。小学6年生でフルートを始めた三原さんは、篠山鳳鳴高等学校から東京音楽大学へ進学。卒業後、オーストリアのウィーン国立音楽大学に留学し、2017年にはフリードリヒ・クラーウ国際フルートコンクールで1位を獲得。2019年に帰国された後は、同センターの管弦楽団に入団し、活躍されてきました。